



もりやさんより守屋山 8月7日号

梅雨が明けても新型コロナの件で、すっきりした気分になれません。7月末入笠山と霧ヶ峰・車山に行ってきた。草原の広さ花の多さにショックを受けて帰ってきました。その時一杯撮った写真の整理も出来ていません。守屋山の花など微々たるものに思えて、私が小学生の頃、盆花を取りに行った草野の守屋山を思い出してしまいました。今は20m以上にもなる唐松が植林されていますが、昔の稜線は草ばかりの、例えるなら霧ヶ峰に似た視界の良い山でした。



ホタルブクロ



コバギボウシ



ウバユリ



ヤブレガサの花



オカトラノオ



スケッチ

- ②先端が尾状に突出
- ③花の先が尖っている

①葉に網目状の脈

エルタテハ
(裏にLマークあり)
左下○内写真



キアゲハ



ツマグロヒョウモン



ミスジチョウ



ミヤマカラスアゲハ

先月の7月17日号でクモキリソウの写真を載せましたが、ジガバチソウとの違いが良く分からず、霧ヶ峰自然保護センターに行ってきた。「写真が小さくはっきりしないが、ジガバチソウではないか」と。

虫メガネを持っていきスケッチして、改めて図鑑を調べるとジガバチソウでした。訂正いたします。

特徴

道路を走っていると相当の数の動物の死骸を見かける。雨上がりにミヤマカラスアゲハが多い。車のスピードが速くぶつかってしまうのだ。舗装されていない土の道の水たまりに、何匹ものアゲハチョウが集まっているのを小さい頃はよく見た。

蛇やアカハライモリも干物のようになっている。この間はツバメが落ちていたが、あれほどの俊敏な鳥でもぶつかってしまうのだ。

高山植物や高山蝶あるいは固有種などなく、ごくありふれた花や蝶の山ですが、登りやすいので展望を楽しみにおいで下さい。